

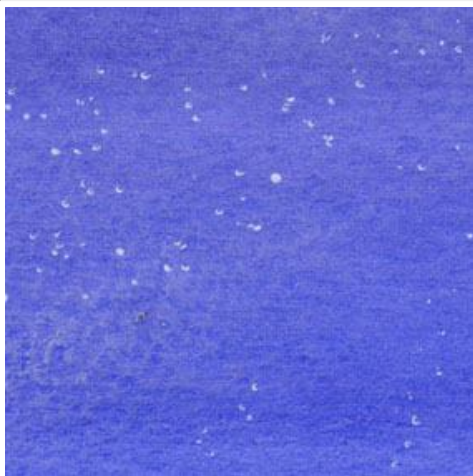
水彩画教室「梅雨明けの星空」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

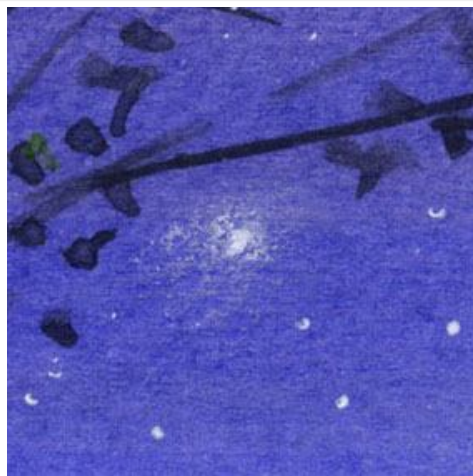
毎年七夕の日は 関東は梅雨明けしていないので 星はなかなか見えません しかし梅雨明けすると とたんにすばらしい星空に出会えます この日も白樺の間から 天の川をはさんで織姫と彦星が見えました 織姫と彦星は実は16光年(約150兆km)も離れています 彦星が瞬いて それに織姫が応えて 一回の会話が成立するのに32年もかかるのです 大変な遠距離恋愛ですね・・・



これが完成した絵です



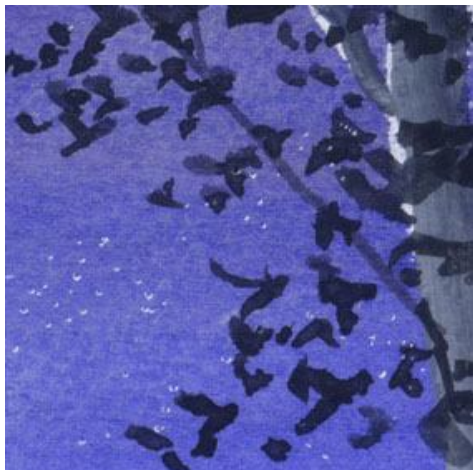
1、天の川は白いパステルをこすり その後白いペン(写真の字を書くペン)で点描しました 点描だけでも描けます



2、主題の織姫は 少し目立つように 点描をしたあと 周囲をパステルでぼかしました



3、夜なので白樺の樹皮もできるだけ暗くしておきます これはパステルで描いたあと 薄い黒の絵具でなぞっています



4、白樺の葉と小枝は やや薄くしたブラックでシルエットで描きます



5、遠くの森はシルエットで描きます 針葉樹と広葉樹を混ぜるのが良いでしょう



6、広葉樹には少し枝も描いておきます 葉はもう少し小さく描けばよかった